

こくりにゆうだより



大阪府立池田高等学校 2年 松原 奏太「菜の花」



今後のイベント情報

※場所の記載がないものはとよなか国際交流センターで開催します。



マイクロアグレッションについて学び、考えるための パネル展示

展示期間：5月3日(土/祝) ~ 8月3日(日)



昨年、とよなか国際交流センターに関わるすべての人が安心していただけるように、スタッフ・ボランティアに向けて、ついつい誰もがしてしまう無自覚の差別について学び、考えるためのパンフレット「知っておきたい! 無自覚の差別『マイクロ・アグレッション』」を作成しました。たくさんの方にお読みいただき、多くの嬉しい反響をいただきました。

マイクロアグレッションについて、より多くの方に知っていただき、一緒に考える機会として、パネル展示を開催します。

ぜひ一度ご来館いただきじっくりとご覧ください。

二次元コードを読み取ってPDFで読むことができます! →



【報告①】2/15（土）「一日離婚相談ホットライン」を開催しました。

2025年2月15日（土）10:30～16:30、大阪弁護士会館にて、今年で8回目となる「一日離婚相談ホットライン」が開催されました。（大阪弁護士会主催、当センターが事務局を務める協議離婚問題研究会（リコン・アラート）共催）

配偶者から勝手に離婚届けを出されて離婚されるという「無断離婚」の相談が頻発していることをうけて、リコン・アラートでは継続して相談会を開催しています。今回の相談者数は18人、相談件数は20件でした。朝日新聞（2月9日）に無断離婚問題と本相談会が取り上げられたこともあり、東京や千葉からも離婚、親権、ほか在留資格等について相談が寄せられ、弁護士、リコン・アラートの参加団体の相談員が対応しました。

これからもこのような会を継続し、情報や支援を必要とする人たちに届けていきたいと思えます。（事務局次長・山本愛）



会場の様子

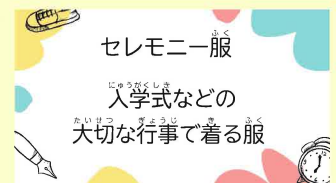
【報告②】2/15（土） 小学校入学準備説明会を開催しました！

2月15日（土）14:00～15:30に、「外国人保護者のための小学校入学準備説明会」を開催しました。当日の参加は2家族となり、アットホームな雰囲気ですすめられました。

前半は、豊中市教育委員会から学校のシステムや外国にルーツを持つ子どものサポート体制についての説明があり、後半には豊中市外国人教育研究協議会の担当者から、実際に入学した後の学校生活（時間割）や、お道具箱、上履きなどの必要な準備物についての具体的な説明がなされました。

参加者は、1月下旬に各小学校で開催された入学準備説明会にも参加されていたため、質疑応答の時間のなかでは、「みまもりメールの登録はどうしたら良いか」など、各小学校で配布された資料をもとに質問される方もいらっしゃいました。

外国にルーツを持つ子どもがいる家庭では、入学の手続きや準備において、日本語がわかる片方の保護者任せになってしまうケースも多くあります。外国人保護者が少しでも不安を解消し、子どもが安心して学校生活を送れるよう、来年度以降も継続して開催したいと思います。（協会職員・三木幸美）



【報告③】2/24（月/祝） メディアリテラシー入門講座を開催しました。

2月24日（月・祝）にメディアリテラシー入門講座を実施しました。今回は午前の部を子どもの支援者むけ、午後の部を中高生むけの二部構成で行いました。講師は登丸あすかさん（文京学院大学）と田島知之さん（京都府立大学）をお招きしました。

午前の部では、子どもの支援にかかわる大人が12人、参加しました。「メディアの視聴をやめさせるのではなく、どういう付き合い方をすればよいか」ということを中心に、子どもの権利条約や子どもの電子メディア憲章を読み解きながら、参加者同士で話し合いを重ねました。参加者からは、「大人がまずメディアとどう向き合うかを考えていかないといけないと感じました」などの感想が寄せられました。

午後の部では、6人の中高生が参加しました。センターの中で動画を作成するワークショップを通して、機材の使い方や、どの視点で動画をつくれればよいのかなどを経験することができました。参加者の感想では、「動画を作る大変さを知った」などの感想をいただくことができました。

子どもを取り巻くメディアについて、子どもと大人が一緒になって考えていく必要性を感じました。これからもメディアリテラシーについて考える機会を継続して行っていきたいと思えます。（協会職員・安村梨紗）



講師のお二人
(左：田島さん 右：登丸さん)



午前の部の様子



午後の部の様子

『ソーラーパネルがひろがる景色』

協会事業（哲学カフェ、プロジェクト“まんかふえ”等）に参加していた辻明典さんが、2018年度より故郷である福島県南相馬市に戻り、教員をしています。辻さんからの福島からの便りをどうぞ。

もし福島県の浜通りを歩くことがあれば、ぜひ見ていただきたい光景がある。元々は田畑だったり、集落があったりした場所に、ソーラーパネルが所狭しに広がっているのだ。木々が切り倒され、山野は削られ、次々と設置されていくメガソーラー。「再生可能エネルギー」と名付けられた「人工物」によって海沿いの風景が象られていくという、皮肉にもならない現実。ここでは、田起（たおこし）の香りが潮風とともにひろがることも、頭を垂れた稲穂が青々と広がることも、もう無いのであろうか。ましてや、人間が寝食を営むことも。

さらにメガソーラーによって作られた電気は、またしても関東に送られていくらしい。かつて稼働していた原子力発電所が首都圏に電気を送っていた構造と、うり二つではないか。国内植民地ともいえる構造は、まだ改善されていないのだろう。

私たちは、「なぜ、電気が必要なのか？」と問うことはあるのかもしれない。そのように問うたとき、私たちは電気が必要な理由を探す。明かりを灯すために。暖をとるために。食事を作るために…あげれば、きりが無い。電気の恩恵を全く受けていない人を探すことは難しいであろう。もちろん、私自身も含めて。

だからなのか、「そもそも、電気が必要なのか？」という発想にはなりにくい。「そもそも…」と問い返したとき、「電気はもしかしたら必要はないのかもしれない」「電気はそれほど必要ないのかもしれない」「暗がりも味わいがあるのではないか」といった考えが浮かぶかもしれない。てつがくカフェをひらくとき、私は「そもそも…」という視点を大切にしているつもりなのだけれど、そういった問い返しは、私たちのリアルな暮らしのなかには、なかなか差し込まれない。電気がなくなると、不便になるからだろう。私たちは、便利さを手放せないのだ。たとえその便利さが、だれかの犠牲の上に成り立っていたとしても。

電気とは、毒饅頭のように、一度でも口にしたら逃れられないものなのだろうか。私も、食べているのかもしれない。



【報告④】 外国人のための消防署見学&防災講座を開催しました！

3月1日（土）に、豊中市北消防署にて外国人のための消防署見学&防災講座を開催し、40人の参加がありました。土曜日の開催ということもあり、お子さん連れの参加が多くありました。

まず、消防署の方から「やさしい日本語」による防災に関するお話がありました。その後、3つのグループに分かれて、消火器訓練、車両見学、煙体験の3つのブースを入れ替わりながら体験しました。

参加者からは「今回の煙は安全なものだから楽しかったけど、本物はこわいですね」「煙の中で出口を見つけるのは想像以上に困難でした」「火事に遭遇した時どうすべきかを知りました」「外国人として防災知識を身に付けられるって、ありがたいと思います！」といった感想が寄せられました。参加した子どもたちもみんな「楽しかった！」と言ってくれていました。

今回の講座、みなさん楽しんで参加をしてくれていましたが、実際の災害は決して楽しいものではありません。外国人が災害弱者とならないよう、また、地域の防災の取り組みの担い手となれるよう、今後も引き続き外国人を対象とした防災の活動を続けていきます。ご協力いただきました豊中市北消防署のみなさん、本当にありがとうございました！（協会職員・山根絵美）



レスキュー車両の設備の説明



煙から脱出！



消火訓練のようす



2025

4月の事業開催カレンダー

◆赤色で表記している活動については、活動内容を変更している場合があります。
詳細については、とよなか国際交流協会へお問い合わせください。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
31 相談	01 相談	02 休館日	03 千里 木ひる にこにこ 相談 つながれ	04 金あさ にこにこ 相談	05 どあさ 相談	06 貸室抽選会 がちゃ たまりば 庄内
07 もつと 相談	08 おやこ 相談 こんばす	09 休館日	10 千里 木ひる にこにこ 相談 つながれ	11 金あさ にこにこ 相談 こんばす	12 どあさ 相談	13 がちゃ 母語 サンプル 庄内
14 もつと 相談	15 おやこ 相談 こんばす	16 休館日	17 千里 木ひる にこにこ 相談 つながれ	18 金あさ にこにこ 相談 こんばす	19 どあさ 相談	20 がちゃ サンプル 庄内
21 もつと 相談	22 おやこ 相談 こんばす	23 休館日	24 千里 木ひる にこにこ 相談 つながれ	25 金あさ にこにこ 相談 こんばす	26 どあさ 相談	27 がちゃ 母語 サンプル 庄内
28 もつと 相談	29 昭和の日	30 休館日				

センターが主催する定例事業

月曜日	もつともつとつかえるにほんご ※ひらがな・かたかなが書ける人が対象 外国人のための多言語相談	10:00~12:00 11:00~16:00
火曜日	おやこ(千里・岡町・庄内の各図書館で実施) 外国人のための多言語相談 学習日本語こんばす	10:00~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
木曜日	とよなかにほんご・木ひる 多文化こども保育にこにこ 千里にほんご(千里文化センターコラボで実施) 外国人のための多言語相談 つながれ とよなか オンライン!	13:30~15:00 13:30~15:00 10:00~11:30 11:00~16:00 19:00~20:00
金曜日	とよなかにほんご・金あさ 多文化こども保育にこにこ 外国人のための多言語相談 学習日本語こんばす	10:30~12:00 10:30~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
土曜日	韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい ※基本、毎月第3土曜日のみ 外国人のための多言語相談 若者のたまりば※第1土曜日のみ みんなでにほんご・どようあさ	9:30~11:30 11:00~16:00 13:30~16:00 10:00~12:00
日曜日	にちようがちゃがちゃだん こども母語※第2,4日曜日のみ 学習支援サンプレイス 庄内にほんご(庄内コラボセンターで実施)	10:00~11:45 10:00~11:30 13:00~15:00 13:00~15:00

今月のピックアップ

**豊中市立図書館の本を
とよなか国際交流センターで借りることができます!**

とよなか国際交流センターの事務所横にある「ふれあい交流サロン」には、様々な図書を配架しています。国際交流センターの蔵書だけでなく、市立図書館の本も貸出できるようになっています。市立図書館に蔵書されている多言語の本(小説や絵本、漫画など)の他、みなさんに今知ってもらいたい、読んでもらいたいテーマの本も配架しています。図書館司書による選書で、1・2か月に一度テーマが変わります。

これらの本は、豊中市図書館の利用者カードがなくてもご利用いただけます。一人5冊、2週間まで貸出ができますので、みなさんぜひ活用ください!



とよなか国際交流センターおしらせ 「こくりゆうだより」第192号(2025年4月号)

発行元・問い合わせ:(公財)とよなか国際交流協会
住所:〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F
(阪急宝塚線豊中駅すぐ)
開館時間:9:00~21:30(水曜休館)
TEL:06-6843-4343 FAX:06-6843-4375
E-Mail:atoms@a.zaq.jp WEB:http://www.a-atoms.info/

多言語情報も配信しています!

SNSも随時更新中!

「とよなか国際交流センター」で検索!

